事前評価チェックシート

計画の名称： 結城市における土地区画整理事業による健全な市街地形成

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性	
①上位計画等との整合性　1）本市の都市計画マスタープラン等の上位計画において、主要施設として位置づけられており整合性が図られている。	○
I.　目標の妥当性	
②地域の課題への対応　1）各地区とも市街化区域でありながら、公共施設整備が遅れている一方、市街地が拡大し、住宅のスプロール化が著しいことから、土地区画整理事業による良好な市街地の形成を行う。	○
II.　計画の効果・効率性	
③整備計画の目標と定量的指標の整合性　1）計画の目標は「土地区画整理事業による市街地の形成、人口の定着を図る」ことを目標としており市街地の形成にかかる指標として「新築住宅の着工件数を増加」、人口の定着にかかる指標として「地区内人口の増加」をそれぞれ設定しており、整合性が図られている。	○
II.　計画の効果・効率性	
④定量的指標の明瞭性　1）整備計画完了時に地区内の居住人口と新築住宅着工件数を増加を把握することで、市街地の形成と人口の定着が図られているか確認できる。また、現況値から目標値へ増加させる目標の設定は明瞭性がある。	○
II.　計画の効果・効率性	
⑤目標と事業内容の整合性　1）土地区画整理事業による住環境の整備・都市的土地利用への推進に伴い、良好な住宅市街地が形成され、居住人口の増加が見込まれるため、目標と事業内容の整合性がとれている。	○
II.　計画の効果・効率性	
⑥事業の効果の見込みの妥当性　1）本整備計画の定量的指標は、定住人口の増加及び新築住宅着工件数の増加を見込んでいる。一方で、本市全体では人口が減少傾向にあるが、都市基盤整備が進むことで、土地区画整理事業を施行中の各地区における魅力や利便性が向上することにより、良好な市街地の形成が行われ、指標の目標値が達成できる。	○
III.　計画の実現可能性	
⑦円滑な事業執行の環境　1）事業実施の確実性については、事業計画を作成し、認可を得ている事業であるため、計画が具体的であり事業の熟度は高い。	○
III.　計画の実現可能性	
⑧地元の機運　1）各地区とも公共施設の整備が遅れいているため、土地区画整理事業による公共施設の早期整備への期待が高い。	○

案件番号：0000700138